

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	高度救命センターにおける重症患者に対する切れ目のない早期リハビリテーションの実態調査～切れ目のないリハビリによるせん妄予防効果について～			
② 実施予定期間	実施許可日から 2026 年 8 月 31 日			
③ 対象患者	対象期間に山口大学医学部附属病院先進救急医療センターに入室し理学療法士が不在時に看護師によるリハビリを受けた患者さん			
④ 対象期間	2023 年 4 月 1 日 から 2025 年 6 月 30 日			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	第一内科、第二内科、第三内科、第一外科、脳神経内科、脳神経外科、呼吸器・感染症内科、耳鼻咽喉科、先進救急医療センター			
⑦ 研究責任者	氏名	吉永 隆将	所属	山口大学医学部附属病院 A 棟 1 階
⑧ 使用する情報等	1)以下の情報を診療録から収集します。 年齢、性別、意識レベル、病名、既往歴、CAM-ICU、疼痛、鎮痛薬の有無、夜間の睡眠状況、眠剤の使用の有無、鎮静薬の使用の有無、RASS、APACHE II スコア、人工呼吸器、Impella(補助循環用ポンプカテーテル)補助循環、人工透析、リハビリの実施状況(端座位・車椅子座位、立位、歩行) ・CAM-ICU (Confusion Assessment Method for the Intensive Care Unit) : せん妄評価ツール ・RASS (Richmond agitation-sedation scale) : 患者さんの意識レベルや興奮・鎮静の程度を評価するためのスケール ・APACHE II スコア (2nd version of the Acute Physiologic Assessment and Chronic Health Evaluation) : 集中治療室に入室した患者の病態の重症度を客観的に評価をするための予後予測法			
⑨ 研究の概要	重症の患者さんは、せん妄を発症する頻度が多位とされています。せん妄とは病気や手術、薬などの影響で、一時的に脳の働きが混乱してしまい意識がぼんやりしたり、言動がおかしくなったりする状態のこと입니다。せん妄を発症してしまうと長期に認知機能が低下するおそれがあります。せん妄の予防の方法の一つとして早期リハビリテーションがあります。当院、先進救急医療センターでは、専従の理学療法士が平日にリハビリテーションを行っています。ですが、休日では理学療法士は不在である			

	ため、主に看護師がリハビリテーションを行っています。本研究は、理学療法士が不在時に看護師が切れ目なくリハビリテーションを行うことによるせん妄の予防効果について研究をします。 対象期間中に山口大学医学部附属病院先進救急医療センターに入院した患者さんで理学療法士が不在時に看護師が行うリハビリのせん妄発症率と土日にリハビリができなかった患者さんのせん妄発症率を比較します。			
⑩ 実施許可	実施許可日	2025 年 11月 25日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	山口大学医学部附属病院看護部研究費			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 看護部 担当者：吉永 隆将			
	電話	0836-22-2773	FAX	0836-22-2776